



## 放課後等デイサービス事業所における自己評価総括表

事業所名	放課後等デイサービス そらいろチョコ	
保護者評価実施期間	2025年12月1日～2026年1月20日	
保護者評価有効回答数	対象者数 22	回答者数 17
従業者評価実施期間	2025年12月1日～2026年1月20日	
従業者評価有効回答数	対象者数 6	回答者数 6
事業者向け自己評価表作成日	2026年2月20日	

## 分析結果

	事業所の <b>強み</b> だと思われること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者への「寄り添い型」支援	面談や電話相談、日々の連絡帳を通じ、保護者の不安(就学や家庭での行動)に対し専門的かつ具体的な助言(支援)を行っています。	ITCツールの導入を活用して、リアルタイムでの情報共有や、忙しい保護者でも相談しやすい環境に取り組みで行きます。
2	個別支援計画の精緻化	スモールステップの目標設定が徹底されており、子どもの「できた!」を可視化できています。	適応行動尺度や感覚プロフィールを活用し、本人の強みと困難さを数値とグラフで可視化できる取り組みをしていきます。
3	構造化された環境づくり	「構造化」と呼ばれる視覚的支援や物理的環境の整理により視覚的なスケジュール提示や空間の区切りを適切に行っています。	利用児童の認知特性に合わせた個別最適化と「自立的な活動(大人の指示待ちからの脱却)」を目指す取り組みをしていきます。

	事業所の <b>弱み</b> だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	ICTを活用したリアルタイムな情報共有	アプリ等を用いて、その日の活動写真や動画を保護者に素早く共有できていない。	ITCツールの導入を検討し、活動中の写真や動画をその場でアップロードし、保護者がスマホで即座に確認できような取り組みを行っていきます。
2	地域とのネットワーク	他の児童発達支援・放課後等デイサービスとの交流を毎年行っていますが放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がもてない。	今後交流ができる機会を設けていくように取り組んでいきます。
3	第三者による外部評価	自己評価だけでは陥りがちな「身内びいき(客観性の欠如)」を防ぐ取り組みができていない。	都道府県が認定した評価機関(専門家)が、ガイドラインに基づき訪問調査やヒアリングを行い、客観的な格付けや改善提案を行う取り組みをしていきます。